

製品名: HP1α ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21444**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:400-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:22kD;Observed MW:22kD

抗原情報

遺伝子名	CBX5 HP1A
別名	Chromobox protein homolog 5;Antigen p25;Heterochromatin protein 1 homolog alpha;HP1 alpha;
遺伝子 ID	23468.0
SwissProt ID	P45973
免疫原	ヒト HP1α の合成ペプチド

背景

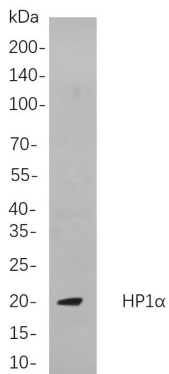
細胞局在: 核。この遺伝子は、ヘテロクロマチンタンパク質ファミリーに属する、高度に保存された非ヒストンタンパク質をコード

する。このタンパク質はヘテロクロマチンに豊富に存在し、セントロメアと会合している。このタンパク質は、メチル化リジン残基を介してヒストンタンパク質に結合できる単一の N 末端クロモドメインと、多数のクロマチン関連非ヒストンタンパク質とのホモ二量体形成および相互作用を担う C 末端クロモシャドウドメイン (CSD) を有する。コードされる産物は、必須のキネトコアタンパク質との相互作用を介して、機能的なキネトコアの形成に関与する。この遺伝子は、3 番染色体上に偽遺伝子を有する。同じタンパク質をコードする複数の選択的スプライシング変異体が同定されている。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

研究分野

-

画像データ



HP1α ウサギ mAb を用いた 3T3-L1 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を用いた。